

令和2年1月21日

農業事業に参入！「高糖度ミニトマト」生産はじめます

～ 太陽光利用型環境制御ハウスで栽培 令和2年8月(予定)から ～

三交不動産株式会社（取締役社長 高林 学、本社：津市丸之内）は、今般、新たな事業として農業事業に参入いたしますので、下記のとおりお知らせします。

記

近年、農業従事者の高齢化等を原因とする農業の衰退や耕作放棄地の増加が社会問題となっています。一方で著しい技術革新により作業労働の省力化と生産性の向上など「スマート農業」化が進んでいるとともに消費者の食に対する安心、安全志向や品質、鮮度志向は益々高まっています。

そこで弊社は、三重県の恵まれた日照や気候を生かし、高品質、高付加価値な農作物を安定的に生産することにより農業がビジネスとして成立し、かつ成長分野として期待ができること、また地域の雇用創出をはじめ地方創生の貢献にも繋がることから農業事業分野への進出を決めました。

生産品目にあたっては、国内における市場規模の大きさや今後の需要に拡大の可能性がある「高糖度ミニトマト」に着目し、農業ベンチャー企業である株式会社OSMIC様（代表取締役社長 中川 英之、本社：東京都中央区日本橋茅場町）と業務提携し通年生産に取り組むことといたしました。同社は、独自配合の土や肥料の開発にノウハウを有しており、気化熱による冷却装置やヒートポンプによる冷暖房装置等を備えた太陽光利用型環境制御ハウスによって、年間を通して「高糖度ミニトマト」の生産及び供給を可能とし、現在も生産拠点を拡大しております。

弊社は、地域の皆様や農地所有者様のご支援・ご協力のもと三重県津市芸濃町に本年3月からハウスを着工し、同年8月より生産をはじめて年間75トンの生産量を目指す予定です。

お客様から選んでいただける安全で安心な品質の「高糖度ミニトマト」を安定的にご提供できるよう、今後取り組みますので、お求めの際にはどうぞご贖下さいますようお願い申し上げます。

<農業用ハウス建設の概要>

所在地：三重県津市芸濃町萩野
敷地面積：約13,000㎡
ハウス規模：5連棟ハウス2棟
(ハウス栽培面積 4,320㎡)
着工：2020年3月(予定)
竣工：2020年7月(予定)
ハウス特徴：気化熱による冷却装置やヒートポンプによる冷暖房装置等を備えた太陽光利用型環境制御ハウス



ハウス栽培イメージ

OSMIC



以上

<お問い合わせ先> 三交不動産株式会社 アグリ推進プロジェクト TEL:(059)227-5113 担当:小林・森

